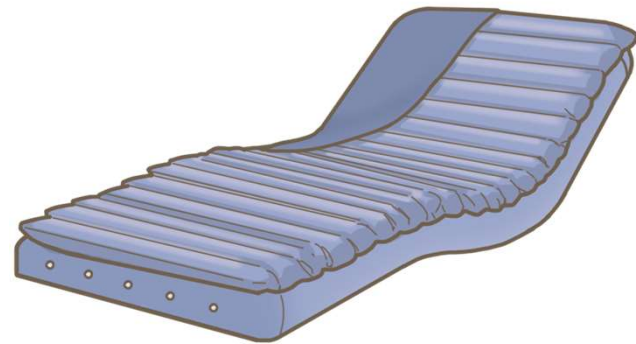
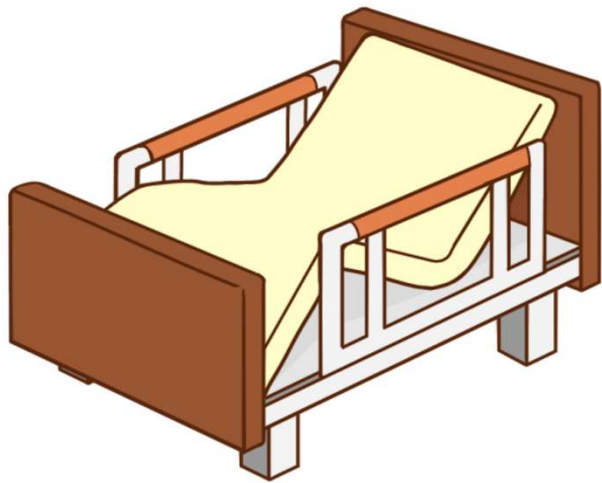


介護用ベッドとマットレスについて



介護用のベッドやマットレスにはいろいろな種類や機能があります。

しかしいざ介護用ベッドやマットレスが必要となったときにどうやって選べばいいかわからない、現在使用しているがいまいち機能や効果がわからないという方もおられると思います。

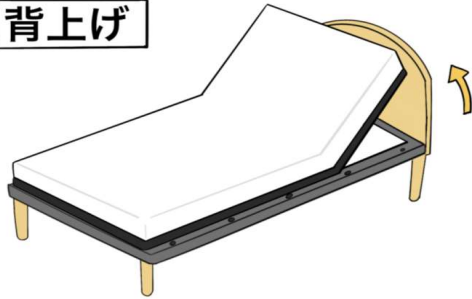
そこで今回は介護用ベッドとマットレスについて基本的な種類、機能などを説明したいと思います。

まずは介護用ベッドについて説明します！

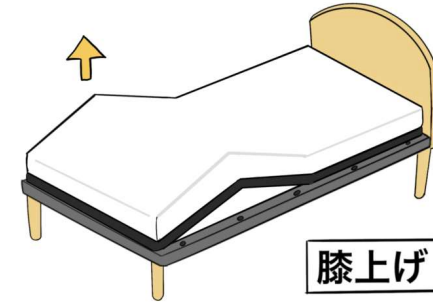


介護用ベッドの基本的な機能

背上げ



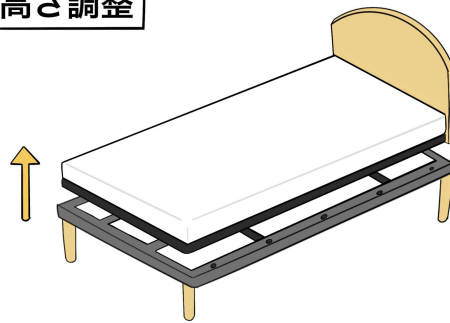
ベッドから起きるのが大変なときやベッド上でTVを観たり、食事をとったりする必要のあるときに使用する



膝上げ

足のむくみを減らしたいときや背上げをしたときに体が足側にずれるのを防ぎたいときに使用する

高さ調整



ベッドから立ったり、腰かけたりを安定して行いたい時やオムツ交換などの場面で介助者の腰にかかる負担を減らしたいとき、ベッドの下を掃除しやすきたいときに使用する

介護用ベッドの種類

介護用ベッドは大きく分けて3つの種類があります
(メーカーによって異なる場合もあります)



1モーターベッド

背上げ又は高さ調節機能付き

2モーターベッド

背上げ&高さ調節の機能付き
又は背上げ&足上げ機能付き

3モーターベッド

背上げ&足上げ&高さ調節機能
付き

介護用マットレスについて

介護ベッドを導入する際には必ずマットレスをセットで使うことになるのですが、マットレスにもさまざまな種類があります。なかでも硬さについては「硬め」「普通」「柔らかめ」のタイプがあります。また全体は硬めだけど一部分だけ柔らかかったり逆に全体は柔らかいが一部分だけ硬めだったり表裏で硬い面と柔らかい面があってリバーシブルで使えるタイプ等いろいろな種類があります。

そこでここでは基本的なマットレスとその特徴や使用するのにおすすめる方を紹介します。

今回は3種類の
マットレスを紹介
します！



マットレスの種類①

低反発ウレタン製マットレス

柔らかめで身体の圧を分散することに優れており、寝心地の良いマットレスです。しかし、寝ていると身体が沈み込むようになり、寝返りや起き上がりがかしにくいため、ベッドでの起き上がりや立ち上がりが安定して行える方におすすめです。



マットレスの種類②

高反発マットレス

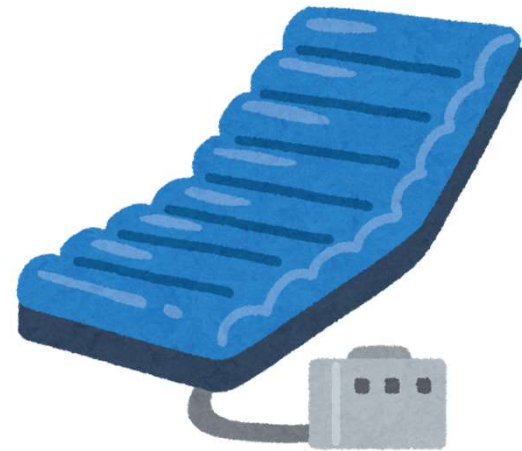
硬めのマットレスは、クッション性にも優れており、寝返りもしやすいです。他にもベッドからの起き上がりや立ち上がりがしやすいので、起き上がりや立ち上がることに不安がある方におすすめです。



マットレスの種類③

エアーマットレス

空気で膨らまして使用する電動マットレスで、身体に麻痺がある方や寝たきりで寝返りをうてない方の褥瘡予防で使用します。利用する方の体型や体重などから硬さを調節したり、自動で身体の圧を定期的に分散できるものもあります。



マットレスの上には敷布団は敷かない！！

介護用のマットレスの上に敷き布団等を敷いて使用すると本来のマットレスで得られる寝心地良さや起き上がりやすさ、身体の圧を分散し褥瘡予防の効果などが失われ、マットレスを使用してる意味がなくなってしまう。

他にも介護用ベッドで背上げを行なった時に布団ごとズレてしまい、窮屈な姿勢になったり、ずり落ちて転落する危険性もあります。

なのでマットレスの上には薄手のベッドパットやシーツを敷きましょう。



最後に

介護用ベッドやマットレスは使用される方の身体状態や用途に合わせて選らびますが、生活の中でそれらは変化していくためベッドやマットレスも合わせて変えていかなければなりません。

しかし、介護用ベッドやマットレスはとても高価なため何度も買い替えることは難しいです。

そこで介護用ベッドやマットレスを使い始める際はレンタルをお勧めします。

介護用ベッドとマットレスは要介護2～5の方はレンタルの対象になり、要支援1～2、要介護1の方も例外的にレンタルできることがあります。詳しくはお住いの自治体や担当のケアマネージャーなどに相談してみてください。

